第 10 回総会議事録

（令和６年４月 26 日開催）

横浜市中央農業委員会

横浜市中央農業委員会　第８期第10回総会　議事録	
日　　時	令和６年４月26日（金）午後２時00分～午後５時15分
開催場所	都筑区総合庁舎６階会議室
出席者 の状況	総委員数　　19名 出席委員数　15名 欠席委員数　４名　　※別添出欠状況表のとおり
開催形態	公開（傍聴者０人）
議　　題	１　議案 第１号議案　横浜市中央農業委員会顧問の委嘱について 第２号議案　横浜市中央農業委員会事務局職員の任命について 第３号議案　農地法第３条の規定に基づく許可申請に対する処分決定について 第４号議案　農地法第４条の規定に基づく許可申請に対する意見決定について 第５号議案　農地法第５条の規定に基づく許可申請に対する意見決定について 第６号議案　農地法の適用を受けない土地に係る非農地証明について 第７号議案　相続税の納税猶予に関する適格者証明について 第８号議案　生産緑地に係る農業の主たる従事者についての証明について 第９号議案　買い取らない旨の通知をした生産緑地のあっせんの協力について 第10号議案　令和６年度生産緑地地区追加指定仮申出地区の農地等への該当について ２　報告事項 第１号　農地法第３条の３の規定による届出について 第２号　農地法第４条第１項第７号の規定による農地転用届出に対する受理について 第３号　農地法第５条第１項第６号の規定による農地転用届出に対する受理について 第４号　農地法第18条第６号の規定による合意解約通知について 第５号　相続税の納税猶予に係る引き続き農業経営等を行っている旨の証明について 第６号　農地の転用事実に関する照会文書の回答について 第７号　農業委員会が発行した３月分扱い諸証明の確認について 第８号　農業経営改善計画の認定について 第９号　農地所有適格法人の事業の状況報告について 第10号　令和５年度農地パトロール（利用状況調査）の結果について
審議結果	第１号議案 決定 第２号議案 決定 第３号議案 １番　許可 ２番　許可 ３番　許可 ４番　許可

	５番　許可 第４号議案 １番　許可相当 ２番　取下げ ３番　許可相当 ４番　許可相当 第５号議案 １番　許可相当 ２番　許可相当 ３番　許可相当 ４番　許可相当 ５番　許可相当 ６番　許可相当 第６号議案 １番　証明交付 ２番　証明交付 ３番　証明交付 ４番　証明交付 ５番　証明交付 ６番　証明交付 ７番　証明交付 第７号議案 １番　証明交付 ２番　証明交付 第８号議案 １番　証明発行 ２番　証明発行 ３番　証明発行 ４番　証明発行 ５番　証明発行 第９号議案 １番　協力 ２番　協力 第10号議案 １番　該当認定 ２番　該当認定

議　　事	
	（開会　午後２時 00 分）
事務局	事務局から出席状況（出席委員 15 名、欠席委員４名）を報告し、法第 27 条第３項の規定により総会成立要件を満たしていることを報告する。 横浜市中央農業委員会会議規則第４条の規定により、角田　昇会長が議長となる。
議長	それでは、ただ今から第 10 回総会を開催します。 本日の議事録署名人は、議席番 18 番　石井　芳明委員、19 番　守谷　弘委員にお願いします。 それでは第１号議案「横浜市中央農業委員会顧問の委嘱について」事務局から説明してください。
事務局	横浜市中央農業委員会顧問の委嘱について、次の者を横浜市中央農業委員会顧問に委嘱したい。 １．神奈川区長　鈴木　茂久　２．港北区長　竹下　幸紀 理由：令和６年４月１日横浜市人事異動をもって、横浜市中央農業委員会の顧問に変更が生じたため、横浜市中央農業委員会組織規程第２条の規定により提案する。
議長	ただ今事務局から説明がありましたが、御意見、御質問等はありますか。 無いようですので、第１号議案について委嘱決定することに賛成の方は挙手をお願いします。
委員	（挙手）
議長	賛成多数と認め、第１号議案について委嘱を決定します。 続いて第２号議案「横浜市中央農業委員会事務局職員の任命について」事務局から説明してください。
事務局	横浜市中央農業委員会事務局職員の任免について 次の者を、横浜市中央農業委員会事務局職員から解任したい。 横浜市中央農業委員会事務局農地係長　藤巻　秀徳 横浜市中央農業委員会事務局　渡利　純也 横浜市中央農業委員会事務局　佐藤　恵美 横浜市中央農業委員会事務局　出籠　駿 横浜市中央農業委員会事務局　佐藤　一博 次の者を、横浜市中央農業委員会事務局職員に任命したい。 横浜市中央農業委員会事務局農地係長　相浦　正弘 横浜市中央農業委員会事務局 佐藤　絵里 理由：令和６年４月１日、及び11日横浜市人事異動をもって、横浜市中央農業委員会事務局の兼任者に変更が生じたため、農業委員会等に関する法律第26条第３項及び横浜

	市中央農業委員会組織規程第４条の規定により提案する。
議長	ただ今事務局から説明がありましたが、御意見、御質問等はありますか。 無いようですので、第２号議案について解任及び任命を決定することに賛成の方は挙手をお願いします。
委員	（挙手）
議長	賛成多数と認め、第２号議案について解任及び任命を決定します。 （辞令交付） それでは第３号議案「農地法第３条の規定に基づく許可申請に対する処分決定について」審議します。 １番について事務局から説明してください。
事務局	譲渡人は相続のため、農地を取得しましたが当該地を耕作できず、農業の廃止を希望しており今回の申請に至りました。また、譲受人は農業拡大を希望していました。 申請地は譲受人所有農地と隣接しています。所有者が相続を受けた農地を耕作できず困っていたところ、隣接地の所有者である譲受人が購入してくれることになりました。 譲受人はこの地区で主に果樹を耕作しており、隣接地を購入した後はナシ畑を拡大することを検討しています。 なお、譲受人世帯の耕作農地は良好に耕作されており、申請地を取得後も家族で、所有農地と一体で露地野菜・果樹を耕作する予定とのことで、その他の要件（全部効率要件・常時従事）は満たしています。また、地域の調和要件についても地元の方ですので問題ありません。 現地は、地区担当委員の小島委員に確認いただいております。 以上、第３条第２項各号に該当しないため、許可要件を満たすと考えております。
議長	１番について地区担当委員の小島委員の意見はいかがですか。
小島委員	譲受人は果樹をきちんとやっている方です。問題ありません。
議長	１番について、他の委員の意見、質問等はありますか。 他の委員の意見が無いようですので、１番について許可とすることに賛成の方は挙手をお願いします。
委員	（挙手）
議長	賛成多数と認め、１番は許可と決定します。 続いて、２番について事務局から説明してください

事務局	譲渡人は経営縮小を希望しており、隣接農地の所有者が購入するという話がまとまったため申請するものです。譲受人は令和４年度まで認定農業者として認定されていた方で、将来は譲受人の息子が継いで、世帯の農業を行っていく意向があります。 譲受人世帯の経営農地は、果樹、露地野菜、水田として全て効率的に利用されています。申請地も隣接の所有農地と一体で効率的に利用する見込みがあります。 常時従事者は本人と息子の２名です。周辺との調和用件について、隣接農地所有者であり問題ないと考えられます。 現地は地区担当の坂田委員に確認いただきました。 以上、第３条第２項各号に該当しないため、許可要件を満たすと考えております。
議長	２番について地区担当委員の坂田委員の意見はいかがですか。
坂田委員	家族で耕作されるとのことです。問題ありません。
議長	２番について、他の委員の意見、質問等はありますか。 他の委員の意見が無いようですので、２番について許可とすることに賛成の方は挙手をお願いします。
委員	（挙手） 賛成多数と認め、２番は許可と決定します。 続いて、３番について事務局から説明してください
事務局	譲受人は昨年５月総会で、３条許可を得て北八朔町の農用地を購入した新規参入者です。北八朔の農用地取得後はブルーベリーと露地野菜を栽培していますが、ブルーベリーの生育には冬季の日当たりが悪かったため、近隣でブルーベリーに適した農地を探していました。申請地は日当たりがよい農地であるため申請に至りました。許可後はブルーベリーと露地野菜を栽培する予定です。譲渡人は経営縮小します。 常時従事者は本人を含め３人です。その他、譲受人の夫が経営している法人の従業員が手伝い、作業が多いときはアルバイトを雇う予定であるとのことです。 現在の経営農地を綺麗に管理できており、申請地も効率的に利用する見込みがあります。 周辺との調和要件について、隣接農地に気を配りながら経営する意向で、現経営農地でも地域の農業団体の活動に参加することを考えており、問題ないと考えられます。 こちらの案件は、地区担当の森委員に現地立会をしていただきました。 以上、第３条第２項各号に該当しないため、許可要件を満たすと考えております。
議長	３番について地区担当の森推進委員の意見はいかがですか。
森推進委員	所有地を確認しましたが、野菜や果樹を植えてありました。申請地を取得しても耕作

	は問題ないと考えています。
議長	３番について、他の委員の意見、質問等はありますか。 他の委員の意見が無いようですので、３番について許可とすることに賛成の方は挙手をお願いします。
委員	（挙手）
議長	賛成多数と認め、３番は許可と決定します。 続いて、４番について事務局から説明してください。
事務局	申請地は譲受人所有地及び自宅と隣接しています。所有者が相続を受けた農地を耕作できず困っていたところ、隣接地の所有者である譲受人が購入してくれることになりました。譲受人は周辺で市街化区域の農地を２か所所有しており、どちらも良好に耕作されています。申請地を取得後も畑として耕作する予定です。また、所有地も良好に耕作されており、全部効率要件・常時従事要件は満たしています。 また、地域の調和要件についても地元の方ですので問題ありません。 なお、申請地に立ち入るにはこの申請者の所有地を通ることでしか畑に入ることはできません。よってその点からも譲受人は適格者であると考えます。 地区担当の小島委員にも確認いただいております。 以上、第３条第２項各号に該当しないため、許可要件を満たすと考えております。
議長	４番について地区担当委員の小島委員の意見はいかがですか。
小島委員	現地を確認しましたが、申請地の前面道路は狭く、譲受人が自己所有地を通るしか畑に入れない場所です。問題ありません。
議長	４番について、他の委員の意見、質問等はありますか。 他の委員の意見が無いようですので、４番について許可とすることに賛成の方は挙手をお願いします。
委員	（挙手）
議長	賛成多数と認め、４番は許可と決定します。 続いて、５番について事務局から説明してください。
事務局	譲渡人は労力不足により経営縮小を希望しており、同一区にお住まいの譲受人が使用貸借により借りる話がまとまったため申請するものです。 譲受人世帯経営農地は、露地野菜畑として全て効率的に利用されております。申請地

	についても露地野菜畑として利用する計画です。常時従事者は本人、妻、母の３名です。また、周辺との調和要件についても近隣農地所有者であり問題ないと考えられます。 以上、農地法第３条第２項各号に該当しないため、許可要件を満たすと考えております。
議長	５番について地区担当委員の金井委員の意見はいかがですか。
金井委員	問題ありません。
議長	５番について、他の委員の意見、質問等はありますか。
議長	他の委員の意見が無いようですので、５番について許可とすることに賛成の方は挙手をお願いします。
委員	（挙手）
議長	賛成多数と認め、５番は許可と決定します。 続いて、第４号議案「農地法第４条の規定に基づく許可申請に対する意見決定について」審議します。１番について、事務局から説明してください。
事務局	本案件は、令和５年８月総会で許可相当として審議された土地ですが、許可取消願が提出された農地です。 申請者は体調を壊し、家族も他業種の仕事をしていることから農業に手を付けられず、申請地の維持管理が困難になりました。今回、資材置場として借り受けたいとの申し入れがあったため転用申請するものです。 借受法人は仮設事業者です。現在、鶴見区獅子ケ谷で 500 ㎡の事業地を借地していますが、近年事業拡大に伴い資材の在庫や車両が増加したことから手狭となり、積み重ね保管している資材に登り積み下ろし作業をすることに危険性が伴うため、900 ㎡を超える土地を探していました。立地基準は第２種農地、市街化区域 500m 以内、10ha 未満です。900 ㎡を超える土地で都筑ＩＣから車で８分以内且つ住宅密集地以外の土地を探していたところ、条件に合う唯一の土地が申請地でした。雨水は場内を砕石敷きとし自然浸透させます。南側に設ける出入口部分以外の周囲はすべて地上４０ｃｍの万能鋼板を新設し、隣接地への砕石の流出を防ぎます。また、車両出入口側にある道路側溝の蓋を厚さ 10 ㎝のものに変更することを都筑土木事務所と打ち合わせ済です。 地区担当委員の金子推進委員と現地立会いをしております。 以上、許可相当として市へ進達したいと考えております。
議長	１番について地区担当委員の金子委員の意見はいかがですか。
金子推進委員	事務局の説明の通り、特に問題ないと思いますのでご審議をお願いします。

議長	１番について、他の委員の意見、質問等はありますか。 無いようですので、１番について許可相当とすることに賛成の方は挙手をお願いします。
委員	（挙手）
議長	賛成多数と認め、１番は許可相当と決定します。 続いて、２番について事務局から説明してください。
事務局	２番についてですが、申請を受付後に５条での申請が適切であると判明したため、２番は申請の取り下げを行い、改めて５条の６番により審議いたします。
議長	この件については分かりました。続いて、３番について事務局から説明してください。
事務局	申請者は高齢で後継者もいないため当該地を耕作できません。南東側にある既存の月極駐車場を本申請地に移転する計画です。現在、借受法人が使用している事業地は使い勝手の悪さや賃借料の値上げを要求されているため、駐車場を移転できる土地を探していたところ、今回の申請地が見つかりました。 立地基準は第３種農地、前面道路に上下水道管が埋設されており申請地から 500m以内に山田小学校と、やまた幼稚園があります。被害防除ですが、境界沿い既存の法面に影響ができないよう、法面から１m離隔を取り敷地内をセメント改良工の上路盤工にしたうえで自然浸透としオーバーフロー分は敷地内の南西側の既存水路へ排水します。外周部には既存のコンクリートブロックを２段とネットフェンスがあります。単管と鋼板で土留めします。出入口はアスファルト舗装とします。雨水浸透阻害行為許可申請については 1,000 ㎡未満のため許可不要であることを横浜市下水道河川局河川管理課に確認済みです。申請地は地区担当委員の岡本推進委員と立会いをしております。
議長	３番について地区担当の岡本推進委員の意見はいかがですか。
岡本委員	事務局の説明の通り、特に問題ないと思いますのでご審議をお願いします。
議長	３番について、他の委員の意見、質問等はありますか。 無いようですので、３番について許可相当とすることに賛成の方は挙手をお願いします。
委員	（挙手）
議長	賛成多数と認め、３番は許可相当と決定します。 続いて、４番について事務局から説明してください。

事務局	申請者は高齢で、畑の管理は負担も大きい状態でした。この度、月極、時間貸し駐車場の運営事業を営んでいる企業から、申請地を駐車場として利用したいとの申し出があり、今回の申請に至りました。立地基準は第３種農地、前面道路に上下水道管が埋設されており、申請地から 500m以内に、すぎの森幼稚園や大棚杉の森ふれあい公園があります。敷地内を砕石舗装とした上で雨水浸透させます。南側は既存のコンクリート土留めとし、西側は万能鋼板を設置します。他法令は北側の車両出入口のＵ字横断については、都筑土木事務所と相談済みです。雨水浸透阻害行為許可申請については 1,000 ㎡未満のため、許可不要であること横浜市下水道河川局河川管理課に確認済みです。 申請地については、地区担当の金子推進委員に確認依頼をしております。 以上、許可相当として市へ進達したいと考えております。
議長	４番について地区担当の金子推進委員の意見はいかがですか。
金子委員	事務局の説明の通り、特に問題ないと思いますのでご審議をお願いします。
議長	４番について、他の委員の意見、質問等はありますか。 無いようですので、４番について許可相当とすることに賛成の方は挙手をお願いします。
委員	（挙手）
議長	賛成多数と認め、４番は許可相当と決定します。 続いて、第５号議案「農地法第５条の規定に基づく許可申請に対する意見決定について」審議します。１番について、事務局から説明してください。
事務局	譲受人は譲渡人の長男です。賃貸住宅に家族４人で住んでいたが、部屋が手狭になり新しい家の建築を考えていましたが、申請地以外で適地もないことから、今回の申請に至りました。立地基準は第３種農地、前面道路に上下水道管が埋設されており申請地から 500m 以内に、かちだ幼稚園や勝田小学校があります。被害防除については建物以外の土地の一部は砕石敷き、その他は土と芝生のままとして雨水は自然浸透させます。西側と南側は、申請地より高所のため隣接への被害防除施設は不要のため、新設しません。 建物内の汚水は北側隣接地にある既設の公共桝に接続して排水し、雨水は北側の水路に接続して排水します。 申請地は地区担当の金子宏正推進委員に確認依頼をしております。 以上、許可相当として市へ進達したいと考えております。
議長	１番について地区担当の金子推進委員の意見はいかがですか。
金子委員	事務局の説明の通り、特に問題ないと思いますのでご審議をお願いします。

議長	１番について、他の委員の意見、質問等はありますか。 無いようですので、１番について許可相当とすることに賛成の方は挙手をお願いします。
委員	（挙手）
議長	賛成多数と認め、１番は許可相当と決定します。 続いて、２番について事務局から説明してください。
事務局	譲渡人は譲受人の義姉です。本申請は、譲受人が農地を所有権移転で譲り受け、そこに分家住宅を建築するものです。 譲渡人は高齢となり、本人だけでは畑の維持管理が困難なため、実際の作業は譲受人が保土ケ谷区川島町から本家に通いながら行っている状況です。譲受人も高齢のため本家まで通い続けるのが負担となっています。このため、畑の近くに分家を建てる計画です。譲渡人所有農地の中でインフラが整備されている土地を選定しました。 当該案件は令和４年度に一度２階建ての分家を建てる計画で転用許可されましたが、送電線の関係で平屋でなければ建築できないことが許可後に判明し、敵地を再度探したものの、ここしか見つからず改めて平屋建ての建築に関して今回申請がありました。 建築面積 88.60 ㎡、土間部分、道路セットバック、庭等で申請面積が必要です。 立地基準は第３種農地です。前面道路に上下水管が敷設されており、500m 以内に鶴ケ峯小学校と横浜鶴ヶ峰病院があります。 被害防除について、北、西、南側の農地との境界はCB３段とフェンスを設置します。道路沿は縁石を設置します。汚水は、前面道路の公共下水管に接続します。建物及び土間部分の雨水は前面道路側溝に放流し、その他の雨水については、自然浸透とします。 建築物の新築について、建築局調整区域課で受付済です。 以上、許可相当として市へ進達したいと考えております。
議長	２番について地区担当の佐藤推進委員の意見はいかがですか。
佐藤推進委員	事務局の説明の通り、特に問題ないと思いますのでご審議をお願いします。
議長	２番について、他の委員の意見、質問等はありますか。 無いようですので、２番について許可相当とすることに賛成の方は挙手をお願いします。
委員	（挙手）
議長	賛成多数と認め、２番は許可相当と決定します。 続いて、３番について事務局から説明してください。

事務局	本申請による転用用途は、資材置場です。譲受人は地盤調査・地盤改良工事業を営んでおり、現在は金が谷に本社と千葉県松戸市に重機・機材置場があります。この度、業務効率化と神奈川、東京、静岡での仕事が多くなってきたことで本社近隣に土地を探していたところ、今回の申請地が見つかりました。立地基準は第３種農地、300m 以内に下川井インターがあります。敷地内の雨水は、整地、砕石舗装、転圧のみのため自然浸透とします。出入口は、既存物置を撤去し砕石舗装とします。西側は既存法面のままとします。 風致地区のため、東側の既存林を残し、南側に４本植樹することを風致地区担当の建築局建築企画課に申請済みです。申請地については、地区担当の小川名委員と確認しております。以上、許可相当として市へ進達したいと考えております。
議長	３番について地区担当の小川名委員の意見はいかがですか。
小川名委員	事務局の説明の通り、特に問題ないと思いますのでご審議をお願いします。
議長	３番について、他の委員の意見、質問等はありますか。 無いようですので、３番について許可相当とすることに賛成の方は挙手をお願いします。
委員	（挙手）
議長	賛成多数と認め、３番は許可相当と決定します。 続いて、４番について事務局から説明してください。
事務局	今回の申請は、申請者がそれぞれ所有している農地を合わせて資材置き場として転用し、借受法人に貸し出すものです。 借受法人は緑区寺山町で足場材の管理・建設を営む法人です。現在賃借している場所は、使用に対して大きく、賃借料も高いため、移転を希望していました。立地基準は第２種農地です。当該地は農地の集団10ヘクタールに属していません。被害防除ですが、敷地内は、砕石敷きとして雨水は自然浸透させます。水路との境は法面のため草地とし平面のみ資材置き場として使用します。隣接地との境は畑ですが単管＋鋼鈑で囲います隣接資材置き場との境は単管とロープにより区別します。入口は、全面の雑種地を経由して入ります。現地は、地区担当の杉崎委員に確認をお願いしました。 以上、許可相当として市へ進達したいと考えております。
議長	４番について地区担当の杉崎委員の意見はいかがですか。
杉崎委員	事務局の説明の通り、特に問題ないと思いますのでご審議をお願いします。

議長	４番について、他の委員の意見、質問等はありますか。 無いようですので、４番について許可相当とすることに賛成の方は挙手をお願いします。
委員	（挙手）
議長	賛成多数と認め、４番は許可相当と決定します。 続いて、５番について事務局から説明してください。
事務局	譲受人は横浜市都筑区で不動産業を営んでいます。譲受人は申請地の隣接地に駐車場を所有しており、これを都筑区川和町で運送業を営む借受法人に貸しています。この度、借受法人が事業拡大を図るために新たに中型トラックを７台購入することになりました。既存の駐車場では手狭のため、100から150㎡ほど拡張したいと検討していたところ、申請地が見つかりました。立地基準は第２種農地です。市街化区域が500m以内にあり、周辺農地の規模が10ha未満です。既存駐車場の隣接地で転用可能な場所は申請地しかありませんでした。敷地内は砕石敷きとし、雨水は自然浸透とします。東側と南側の隣地境界には土留め用の４段積みのコンクリートブロックを新設します。北側と西側には既存の３段積みコンクリートブロックがありますが、既存駐車場と申請地には高低差があるため、撤去して既存駐車場と同じ高さになるよう高さ30㎝程度砕石を入れます。申請地については、地区担当の角田会長に確認いただいています。 以上、許可相当として市へ進達したいと考えております。
議長	地区担当の角田です。事務局の説明の通り、特に問題ないと思いますのでご審議をお願いします。 では、５番について、他の委員の意見、質問等はありますか。 無いようですので、５番について許可相当とすることに賛成の方は挙手をお願いします。
委員	（挙手）
議長	賛成多数と認め、５番は許可相当と決定します。 続いて、６番について事務局から説明してください。
事務局	申請者の自宅敷地に住宅を新築することになった際、横浜市建築局から幅員４m以上の通路を新設するよう求められたため、申請を行うものです。幅員３mの既存通作路がありますが、住宅建築用の通路としては申請できないため、新たな通路を併設します。建築局の提示する条件を満たすには、通路として申請する土地の接道幅が４m以上であることと、そのうち平らにする有効幅が１m以上あることが必要です。この条件を満たし必要最小限の転用で通路を設置できる場所は申請地以外ありませんでした。本申請は一部転用ですが、通路の完成後は分筆をして地目を変更する予定です。立地基準は第２

	種農地です。市街化区域が 500m以内にあり、周辺農地の規模が 10ha 未満です。通路は土を転圧し、雨水は自然浸透とします。残りの法面部分は現況と同じく土のままとし、緩い勾配にて処理します。都市計画法による開発許可申請については、横浜市建築局調整区域課で受付済みです。申請地は隣接地区担当委員の角田会長により確認しています。以上、許可相当として市へ進達したいと考えております。
議長	事務局の説明の通り、特に問題ないと思いますのでご審議をお願いします。 ６番について、他の委員の意見、質問等はありますか。 無いようですので、６番について許可相当とすることに賛成の方は挙手をお願いします。
委員	（挙手）
議長	賛成多数と認め、６番は許可相当と決定します。 続いて、第６号議案「農地法の適用を受けない土地に係る非農地証明について」審議します。１番から７番について、事務局から説明してください。
事務局	１番について、立地基準は第２種農地です。11年間駐車場として使用されていることを土地課税台帳登録事項証明で確認しました。 ２番について、立地基準は第３種農地です。16年間駐車場として使用されていることを航空写真で確認しました。 ３番について、立地基準は第３種農地です。現地で耕作不適地であることを確認しました。 ４番について、立地基準は第２種農地です。26年間山林であることを航空写真で確認しました。 ５番について、立地基準は第２種農地です。26年間住宅敷地として使用されていることを航空写真で確認しました。 ６番について、立地基準は第２種農地です。27年間駐車場として使用されていることを航空写真で確認しました。 ７番について、立地基準は第２種農地です。18年間駐車場として使用されていることを航空写真で確認しました。 説明は以上です。
議長	１番から７番について、委員の意見・質問等はありますか。
関戸委員	３番について、耕作不適地とはどのような状態ですか。
杉崎委員	東名高速道路の横浜町田インターができる前は、水田として利用されていましたが、インターができたことにより、周囲から分断され、現在では行くことができなくなってしまったため耕作は不可能です。

議長	他に質問・意見等ありますか 無いようですので、1 番から 7 番までについては承認し証明を交付することに賛成の方は挙手をお願いします。
委員	（挙手）
議長	賛成多数のため、1 番から 7 番までにつきまして証明交付とします。 続いて、第 7 号議案「相続税の納税猶予に関する適格者証明について」審議します。１番について、事務局から説明してください。
事務局	令和 5 年 12 月 9 日に被相続人がお亡くなりになり、子である相続人が当該地を相続するにあたって納税猶予を受けたいとの意向から申請されたものです。 地区担当の飯嶌推進委員と相続人と現地立会いを行いました。農地は露地野菜畑として良好に耕作されています。 以上のことからから、「相続税の納税猶予に関する適格者証明書」の交付につきまして、妥当であると考えております。
議長	地区担当の飯島推進委員の意見はいかがですか
飯嶌推進委員	問題ありません
議長	１番について他の委員の意見、質問等はありますか 無いようですので、１番について証明交付することに賛成の方は挙手をお願いします。
委員	（挙手）
議長	賛成多数と認め、１番は証明交付とします。 続いて、２番について事務局から説明してください。
事務局	１番と同様に令和 5 年 12 月 9 日に被相続人がお亡くなりになり、養子である相続人が当該地を相続するにあたって納税猶予を受けたいとの意向から申請されたものです。地区担当の飯嶌委員と相続人の親族と現地立会いを行いました。農地は良好に耕作されています。 以上のことからから、「相続税の納税猶予に関する適格者証明書」の交付につきまして、妥当であると考えております。御審議のほどよろしくお願いいたします。
議長	地区担当の飯島推進委員の意見はいかがですか

飯嶌推進委員	問題ありません
議長	２番について他の委員の意見、質問等はありますか 無いようですので、２番について証明交付することに賛成の方は挙手をお願いします。
委員	（挙手）
議長	賛成多数と認め、２番は証明交付とします。 続いて、第８号議案「生産緑地に係る農業の主たる従事者についての証明について」審議します。1 番について事務局から説明してください。
事務局	令和５年 12 月 23 日に所有者が死亡しています。今後農業の継続が困難となったため、市に対しての買取申出を行うべく、主たる従事者証明の発行証明を願い出たものです。のこの件は所有者が死亡のため、「生産緑地の買取申出に伴う農業の主たる従事者証明の事務処理要項」第２条第１項の「農業経営に欠くことのできない者、所有権を有するもの」に合致しています。
議長	地区担当の阿部委員の意見はいかがですか
阿部委員	問題ありません
議長	１番について他の委員の意見、質問等はありますか 無いようですので､1 番について証明発行することに賛成の方は挙手をお願いします。
委員	（挙手）
議長	賛成多数と認め、１番は証明発行とします。 続いて、２番について、事務局から説明をお願いします
事務局	令和４年 11 月 16 日に所有者が死亡しています。今後農業の継続が困難となったため、市に対しての買取申出を行うべく、主たる従事者証明の発行証明を願い出たものですこの件は所有者が死亡のため、「生産緑地の買取申出に伴う農業の主たる従事者証明の事務処理要項」第２条第１項の「農業経営に欠くことのできない者、所有権を有するもの」に合致しています。
議長	地区担当の内田推進委員の意見はいかがですか
内田推進委員	問題ありません

議長	２番について他の委員の意見、質問等はありますか 無いようですので、２番について証明発行することに賛成の方は挙手をお願いします。
委員	（挙手）
議長	賛成多数と認め、２番は証明発行とします。 続いて、３番について、事務局から説明をお願いします。
事務局	令和６年２月３日に所有者が死亡しています。今後農業の継続が困難となったため、市に対しての買取申出を行うべく、主たる従事者証明の発行証明を願い出たものですこの件は所有者が死亡のため、「生産緑地の買取申出に伴う農業の主たる従事者証明の事務処理要項」第２条第１項の「農業経営に欠くことのできない者、所有権を有するもの」に合致しています。
議長	地区担当の河原推進委員の意見はいかがですか
河原推進委員	問題ありません
議長	３番について他の委員の意見、質問等はありますか 無いようですので、３番について証明発行することに賛成の方は挙手をお願いします。
委員	（挙手）
議長	賛成多数と認め、３番は証明発行とします。 続いて、４番について、事務局から説明をお願いします。
事務局	令和４年 12 月２日に所有者が死亡しています。今後農業の継続が困難となったため、市に対しての買取申出を行うべく、主たる従事者証明の発行証明を願い出たものですこの件は所有者が死亡のため、「生産緑地の買取申出に伴う農業の主たる従事者証明の事務処理要項」第２条第１項の「農業経営に欠くことのできない者、所有権を有するもの」に合致しています。
議長	地区担当の井上推進委員の意見はいかがですか。
井上推進委員	問題ありません。
議長	４番について他の委員の意見、質問等はありますか。 無いようですので、４番について証明発行することに賛成の方は挙手をお願いしま

	す。
委員	（挙手）
議長	賛成多数と認め、４番は証明発行とします。 続いて、５番について、事務局から説明をお願いします
事務局	令和６年２月９日に所有者が死亡しています。今後農業の継続が困難となったため、市に対しての買取申出を行うべく、主たる従事者証明の発行証明を願い出たものですこの件は所有者が死亡のため、「生産緑地の買取申出に伴う農業の主たる従事者証明の事務処理要項」第２条第１項の「農業経営に欠くことのできない者、所有権を有するもの」に合致しています。
議長	地区担当の関口推進委員の意見はいかがですか
関口推進委員	問題ありません
議長	５番について他の委員の意見、質問等はありますか 無いようですので、５番について証明発行することに賛成の方は挙手をお願いします。
委員	（挙手）
議長	賛成多数と認め、５番は証明発行とします。 続いて、第９号議案「買い取らない旨の通知をした生産緑地のあっせんの協力について」審議します。事務局から説明をお願いします。
事務局	１番から２番は主たる従事者証明発行済みです。市長から農業者へあっせんの協力依頼がありましたので情報提供します。買取希望がある場合は、５月７日（火）を期限として事務局までご連絡ください。
議長	１番から２番まであっせんに協力します。 続いて、第 10 号議案「令和６年度生産緑地追加地区指定仮申出地区の農地への該当について」、事務局から説明をお願いします。 今回は、生産緑地追加指定の仮申出地区の農地性の有無を御審議いただきます。 1001 番の指定基準は、緑地機能の補完（良好な景観形成）です。スライドをご覧ください。地図の北側のブロック、12-6、-15、-16 です。続いて、地図の南側のブロック、13-9、-10、-11、-12 です。現地はいずれも果樹畑として利用されています。 本案件は地区担当の杉崎委員に確認いただいています。

議長	1001 番について、地区担当の杉崎委員の意見はいかがですか。
杉崎委員	現地を確認しましたが問題ありません。
議長	1001 番について、他の委員の意見はありますか。 他の委員の意見が無いようですので、1001 番については農地等に該当すると認定することに賛成の方は挙手をお願いします。
委員	（挙手）
議長	挙手多数と認め、1001 番は農地等に該当すると認定します。 続いて、1005 番について事務局から説明してください。
事務局	1005 番の指定基準は、既存生産緑地の一体化・整形化（83298 の拡大）です。スライドをご覧ください。現地は露地野菜畑として利用されています。本案件は地区担当の中山推進委員に確認いただいています。
議長	1005 番について、地区担当の中山推進委員の意見はいかがですか。
中山推進委員	問題ありません。
議長	1005 番について、他の委員の意見はありますか。 他の委員の意見が無いようですので、1005 番については農地等に該当すると認定することに賛成の方は挙手をお願いします。
委員	（挙手）
事務局	挙手多数と認め、1005 番は農地等に該当すると認定します。 なお、追加指定については既存で指定されている生産緑地 30 年と同じ年数で特定生産緑地へ移行するのでしょうか？
議長	事務局から北部農政事務所農政推進担当へ確認したところ、今回指定した生産緑地の年数は既存指定部分と連動はしないとのことです。
事務局	以上で、議事については終了しましたので、報告事項第 1 号から第 10 号について、事務局お願いします。
事務局	（報告事項 1 号から 10 号まで議案書の通り一括報告）
議長	ただいまの報告につきまして、意見・質問等はありますか

井上推進委員	第 10 号議案について、利用状況調査の結果が無回答という場合は、何かその後の対応は行っているのでしょうか？
事務局	利用状況調査を送付して、無回答だった土地所有者については、今後も地区担当委員の皆様にご協力いただきながら、管理状況の確認等を進めていきます。
井上推進委員	無回答であった方についても対応が進むことで、遊休農地を減らすことができるのではないかと考えています。
事務局	今年度は地区担当委員の皆様も、農地パトロールに参加していただこうと思います。地元で声掛けができるようであれば、荒地の改善について地区担当委員からの声掛けも有効と考えています。
井上推進委員	地区担当委員として農地の改善を土地所有者に声掛けする場合、難しい場面があります。その場合にも横浜市との協力が不可欠です。
事務局	遊休農地の改善や対応については、農業委員、事務局を含む農政事務所と協力をしながら、様々なアプローチの仕方があると考えています。
坂田委員	土地所有者に何回か声をかけることで、管理不十分農地が改善する場合があると思います。しかし、違反転用している農地についての声掛けを、どうしたらよいかわからない場合が多いので、農業委員会として、対応指針のようなものがあればいいと思います。
菅沼委員	市と農業委員会と協力して進めるのが必要だと考えます。
事務局	進め方については皆様からご意見をいただきながら検討したいと考えています。
内田推進委員	違反転用している農地については、非農地証明の発行は可能ですか。
議長	農地パトロールの調査対象は農振農用地区域で行っているため、非農地証明は発行できません。農地法として考えるとまずは是正を指導していくことが先であると考えています。
関口推進委員	違反転用されている土地については、課税は変更されるのですか。
事務局	課税については、税務課により現況で判断していると聞いています。
議長	管理不十分農地については地区担当委員と事務局で声掛けを行う必要があると思います。農業委員会として進め方も考えた方が良いと思います。

杉崎委員	地区担当委員はどこまで声をかけるべきか迷う時があります。農地の管理について声掛けしても応じてくれない場合もあり、困る場面があります。
議長	南西部農業委員会もありますがまず中央農業委員会として、市と委員による意見交換の場を設ける必要がありそうです。今後、検討していきたいと思います。 それでは、報告事項を了承とします。 これを持ちまして第 10 回総会を終了します。

会長は議事録を作成し、議長は署名人とともに署名する。

令和６年　　月　　日

議　長

署名人

署名人

令和６年４月26日開催　第10回総会出欠状況

【農業委員】

番号	氏　名	役　職　名	出欠状況	備　　考
1	角　田　　昇	会長	出席	議長
2	野　路　幸　子	会長職務代理者	欠席	
3	飯　田　　清		欠席	
4	加　藤　義　晴		出席	
5	小　島　重　信		出席	
6	平　本　武　夫		欠席	
7	坂　田　清　一		出席	
8	白　井　秀　幸		出席	
9	阿　部　　敏		出席	
10	金　井　　健		出席	
11	小　池　誠一郎		出席	
12	岡　本　　肇	連合会理事	出席	
13	菅　沼　　進		出席	
14	杉　崎　精　一		出席	
15	関　戸　裕　一	連合会理事	出席	
16	小川名　重　典	連合会理事	出席	
17	加　藤　　保		欠席	
18	石　井　芳　明		出席	議事録署名人
19	守　谷　　弘		出席	議事録署名人

【農地利用最適化推進委員】

番号	氏　名	役　職　名	出欠状況	備　　考
1	飯　嶌　啓　吾		出席	
2	荻　野　　清	連合会理事	欠席	
3	金　子　宏　正		出席	
4	川　田　昭　一		欠席	
5	鈴　木　　昇	連合会理事	出席	
6	関　口　正　徳		出席	
7	中　山　　勝		出席	
8	根　本　栄　治		欠席	
9	村　岡　　鐘		出席	
10	井　上　太　市		出席	
11	内　田　英　一	連合会理事	出席	
12	大　矢　　勝		出席	
13	金　子　晴　男		出席	
14	河　原　俊　一	連合会監事	出席	
15	小　原　甲　史		出席	
16	齋　藤　春　美		欠席	
17	佐　藤　孝　春		出席	
18	新　川　和　生		出席	
19	森　　正　明		出席	

その他会議に出席した関係者の氏名：なし